



整備された集落



香住海上花火大会の会場

昨年中止の香住海上花火大会の処理は キャンセル料1000万円を支払いました



森浦 繁議員

①昨年中止になった香住海上花火大会の協賛金やキャンセル料の処理はどのように行われ

たか。
②今年度の開催に当たり、同じ轍を踏まないためにどのような対策を講じたか。

町長

①花火の当日キャンセル料は費用の100%という条件で、1000万円を支払いました。ほかに警備費用のキヤ

ンセル料(70%)が約127万円、バス費用のキャンセル料(50%)が約33万円を支払いました。一方、中止で保険金720万円が給付され、協賛金などを含め収支残金は、1118万円となります。

②中止を避ける方法として、予備日を設けることを検討しました。費用面で負

担の少ない翌日を予備日とすることとしました。



情報格差のない町づくりについて問う

将来を見据えて判断していくのが肝要



小谷 康仁議員

本町は、山間地の厳しい地理条件や過疎化、高齢化の進行など多くの問題を抱えている。一方、情報通信基盤の整備では、他地域と格差のない取組が求められている。整備は事業者が行うの

が基本だが、地理的な条件や採算上の問題から行われる見込みがない集落の光ファイバーの整備を国の補助を受け実施された。14年経過し、情報通信は利用されているのか？今後どのようにに活用されるのか？伺う。

町長

当初の目的であった携帯電話の通話ができない問題を解消するため、現在も引き続き不通

地域における民間事業者の携帯電話サービスの提供に活用されています。

光ファイバー網の今後の活用方法についてですが、情報格差を解消するための取組の一つとして、引き続き維持管理を続けます。また、大容量ネットワークサービスへの早期対応を含めて、さらなるサービスの充実に向けインフラの整備を事業者に働きかけていきます。